



整理No.		2017-14		労働災害状況調査表	
発生会社 事業所					
災害発生日時		2016年 8月 30日(火) 16時 00分 天候(晴) 温度( )℃湿度( )%			
災害区分		不休災害 休業災害(休業:△日)			
被災者	部門	技術部門		雇用形態 (正社員)、派遣、契約、その他( )	
	年齢	60歳	性別: 男 (女)	勤続年数 42年 ヶ月	経験年数 年 5ヶ月
	傷病名	挫傷および炎傷			
	傷病部位	右手中指先			
災害発生状況	① 平面引張り試験の前準備を行う為、ドリリーにペーパー掛けを行っていた。		状況概略(写真orイラスト)		
	② ドリリーを強く押さえて、ペーパー掛け中、バランスを崩し、ドリリーで中指を強打した。		 <p>ドリリー 直径20mm</p> <p>平面引張り試験の前準備として、ドリリーと塗膜表面の接着強度確保の為、接着面にペーパー掛けを行う。</p>		
	③ 作業終了後、痛みは残っていたが、我慢できない程ではなかったので、そのままにしていた。しかし、なかなか痛みが取れず、後日、指が化膿していることに気付き、病院で受診した結果、左手中指打撲、爪周囲炎と診断された。		 <p>ペーパー掛け作業の際に、中指側にバランスを崩し、中指をドリリーに強打した。</p>		
	災害の型 <sup>※1)</sup> :6 切れ、こすれ		作業の形態 (定常)、非定常、その他( )		
	起因物: ドリリー		特記事項 特になし		
原因分類	1.人的要因(man):作業方法不適。当該作業の不慣れ。				
	2.物に関する要因(machine):ドリリーのサイズ。(小さい)				
	3.環境要因(media):特に無し。				
	4.管理的要因(management):作業手順書未作成。				
対策	① 作業標準を作成する。特に今回、力の入れすぎが原因と考えられるので、適正なペーパー番手やペーパー大きさ、固定方法、研磨時の姿勢、研磨方法など具体的な内容を明記する。				
	② ドリリーが小さく、手で固定しにくい為、ドリリーを固定し、手で持ちやすくするための治具を作成する。				
対策分類 <sup>※2)</sup> :1-2災害・事故の想定と対応、1-5変更管理					

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)